

れい樹 〈木粉配合樹脂〉 デッキフェンス

■このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

■この取付説明書の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、
施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
内容を良くご理解いただき、本書の内容〈指示〉にしたがってください。

施工を始める前に

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- フェンスは隣地境界線を目的に設置をするものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
- 本製品は一般住宅の一階相当分施工用です。それ以外の場所への取付けはしないでください。

①部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。

- ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。
- ・平らな場所に平置きしてください。栈木の上に乗せると、反りが発生する場合があります。
- ・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
- ・製品の上に重量物を長時間重ね置きしないでください。

②設置場所を確認してください。

- ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。
- 熱排気による部材の変形・劣化のおそれがあります。

③人工木は表面に研磨加工処理を施してありますので、部材の施工方向によっては色調に濃淡がでます。

④正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

⑤製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

⑥施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。

⑦市販の研磨紙を利用する際は、＃24 ～ 40 のサンドペーパーを用いてください。

⑧施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

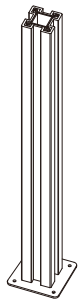
INDEX

1 梱包明細表	2	4 フェンスの取付け	9
2 基本寸法と各部の名称	3	■ラティスフェンスの場合	9
3 各部材の事前準備	5	【1】下棧の取付け	9
■コーナー笠木寸法カット	5	【2】笠木取付金具の取付け	9
■パネルの切り詰め	6	【3】パネルの挿入	10
■フェンス取付アングルの取付位置	7	■ボーダーフェンスの場合	10
■フェンス取付アングルの取付け	8	【1】笠木取付金具の取付け	10
		【2】フェンスの取付け	10
		5 笠木の取付け	11
		6 フェンス柱化粧カバーの取付け	12
		7 施工後の補修	12

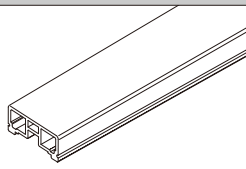
1

梱包明細表

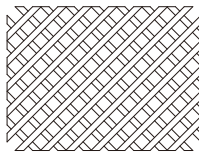
【1】柱セット

呼 称	略 図	員 数
		1 本入
柱		1

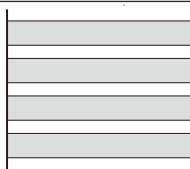
【2】笠木セット

呼 称	略 図	員 数	
		中間及び 端部・コーナー	ロング笠木
笠木		1	1
笠木取付金具		4	8
φ4.2×19 ナベドリルねじ		4	10
M4×10トラス小ねじ		4	10

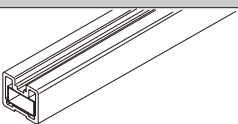
【3】ラティスパネル

呼 称	略 図	員 数
		1 本入
ラティスパネル		1
取付説明書		1

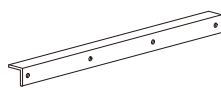
【4】ボーダーパネル

呼 称	略 図	員 数
		1 本入
ボーダーパネル		1
φ4.2×25 ナベドリルねじ		4
取付説明書		1

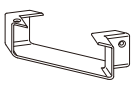
【5】下桟セット

呼 称	略 図	員 数
		1 本入
下桟		1
下桟取付金具		2
穴あけ治具		1
φ4.2×25 ナベドリルねじ		4
M5×45 なべ小ねじ 座金、ナット付		2

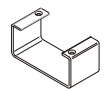
【6】フェンス取付アングル

呼 称	略 図	員 数
		1 本入
フェンス取付 アングル		2
φ4.8×13ナベドリルねじ		14 (予備 2)
φ5.5×75 十字穴付六角ドリルねじ		4
M6×65 十字穴付六角ボルト (座金・ナット付)		4

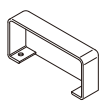
【7】笠木90°コーナーキャップ

呼 称	略 図	員 数
		1 本入
笠木 90° コーナーキャップ		1
φ4.2×13 サラタッピングねじ		2

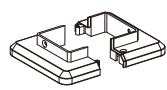
【8】笠木連結キャップ

呼 称	略 図	員 数
		1 本入
笠木連結キャップ		1
φ4.2×13 サラタッピングねじ		2

【9】笠木端部キャップ

呼 称	略 図	員 数
笠木端部キャップ		2
φ4.2×13 サラタッピングねじ		4

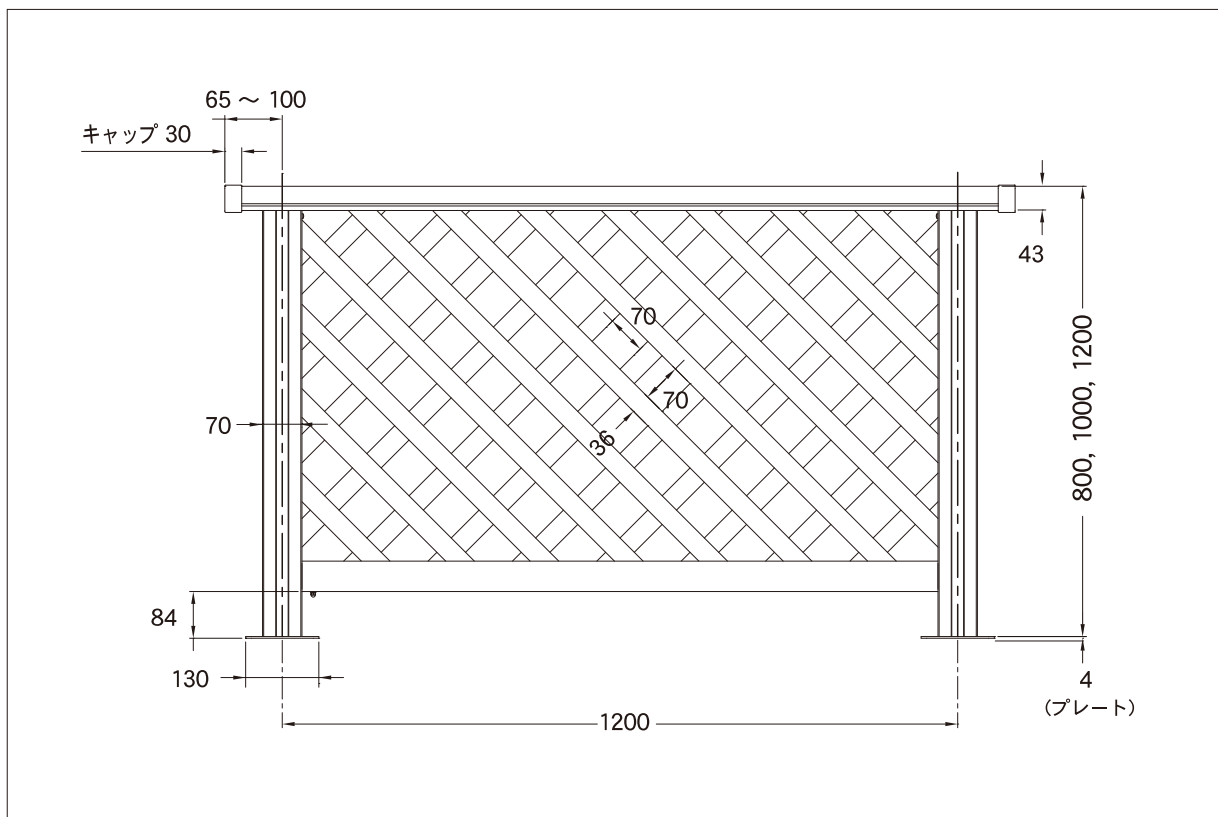
【10】フェンス柱化粧カバー

呼 称	略 図	員 数
フェンス柱 化粧カバー		1
φ4.2×13 サラタッピングねじ		4

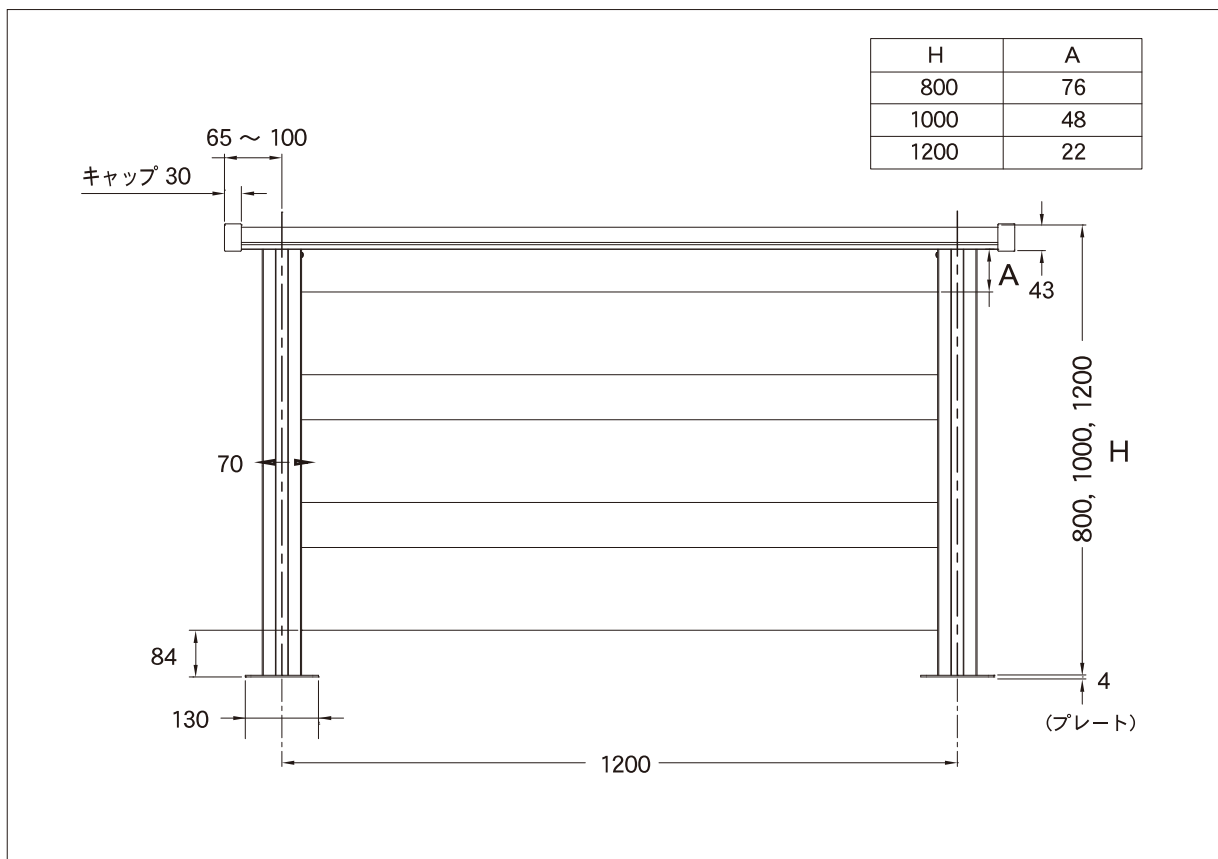
2

基本寸法と各部の名称

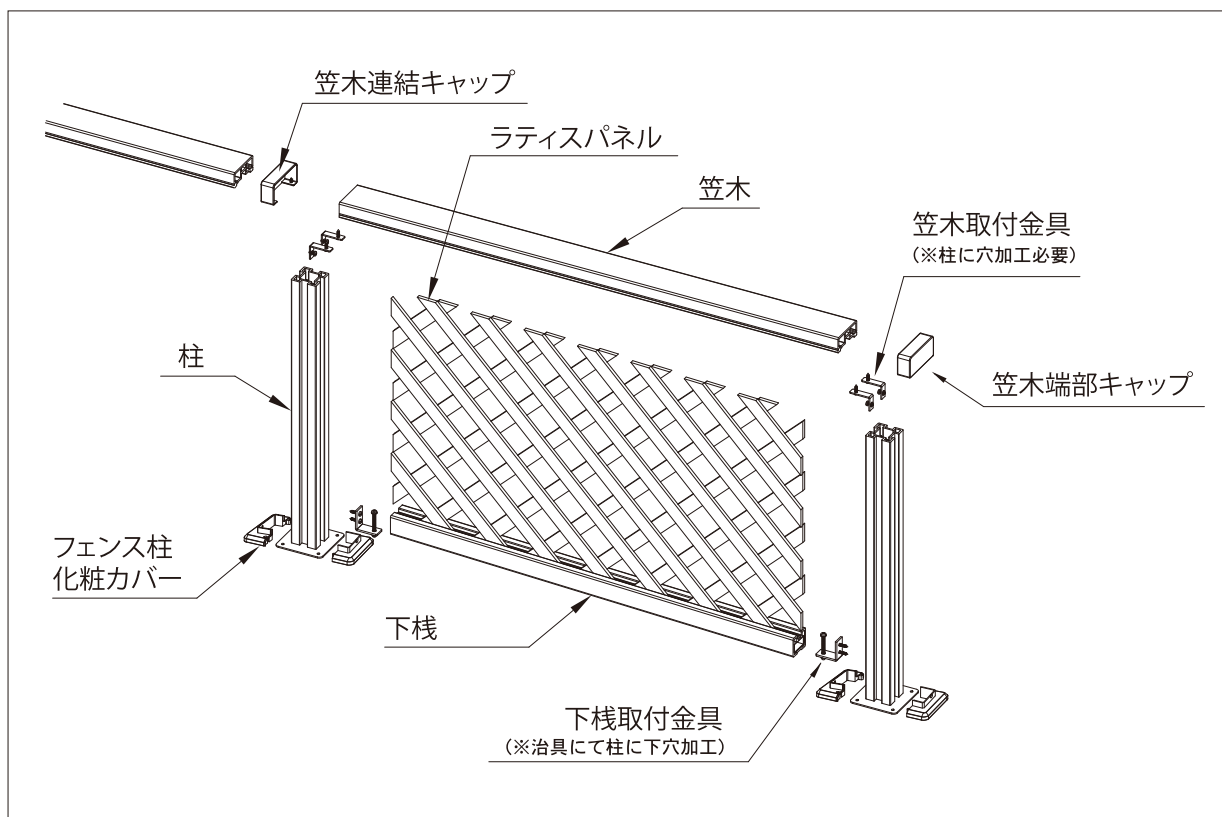
■ラティスフェンス



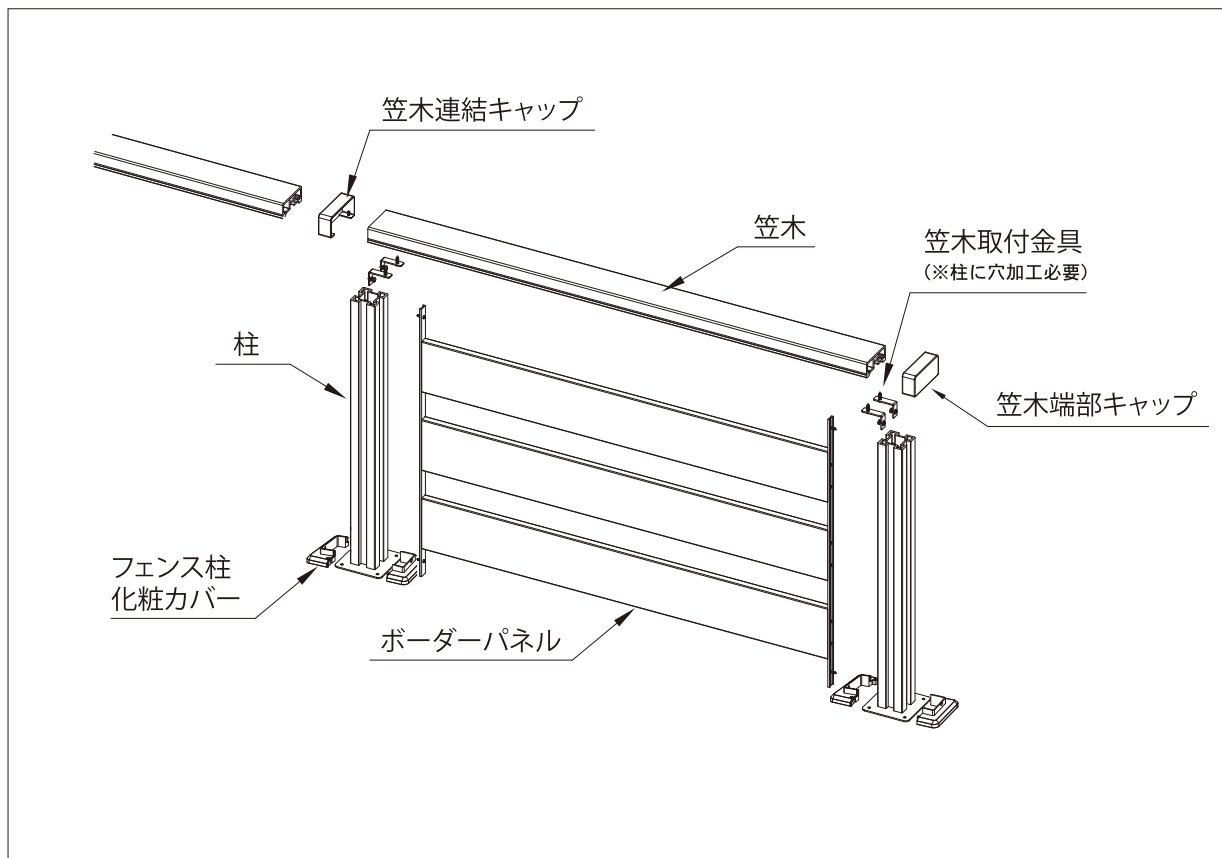
■ボーダーフェンス



■ラティスフェンス

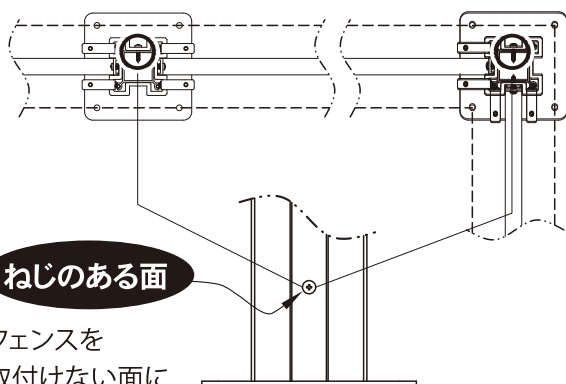


■ボーダーフェンス





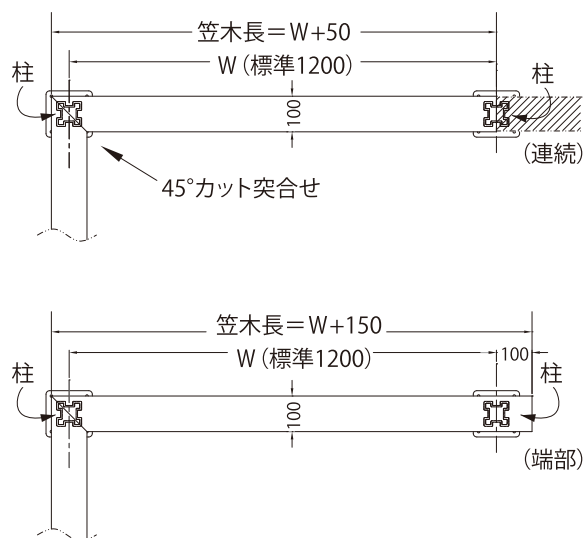
柱の向きに注意して
配置してください。



ねじのある面

フェンスを
取付けない面
に向けてください。

■コーナー笠木寸法カット



Point

笠木連結キャップ、笠木コーナーキャップを使用する場合は、
あらかじめ笠木にキャップを差し込んでおいてください。

Point

※ロング笠木の場合も
意匠上、笠木連結キャップは
設置します。

(※笠木固定前に差し込み)
笠木連結キャップ

(※笠木固定前に差し込み)
笠木コーナーキャップ

(※笠木固定前に差し込み)
笠木連結キャップ

笠木端部
キャップ

ロング笠木(2スパン)

※L=2600を切断調整

中間用笠木

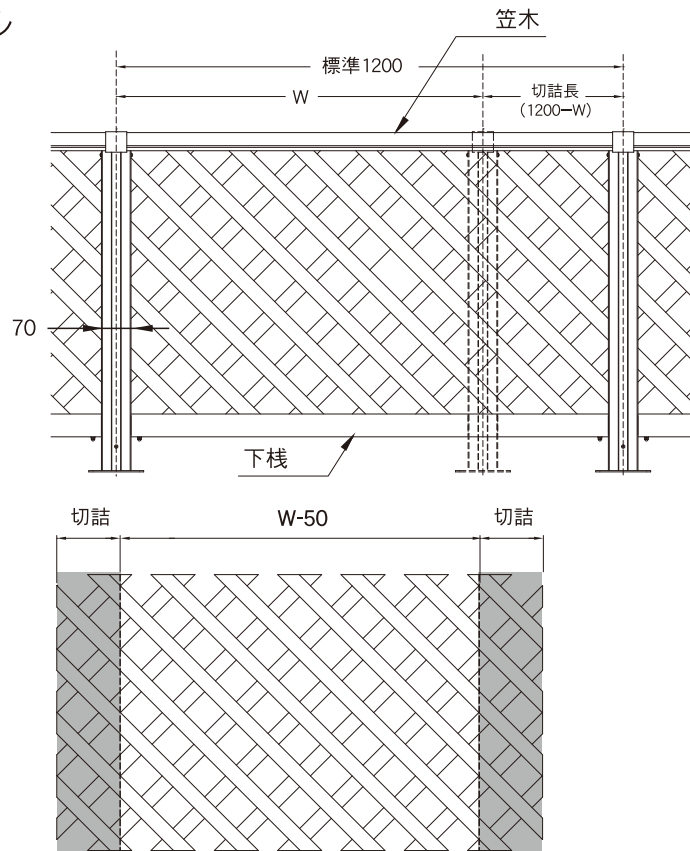
笠木端部キャップ

端部コーナー用笠木

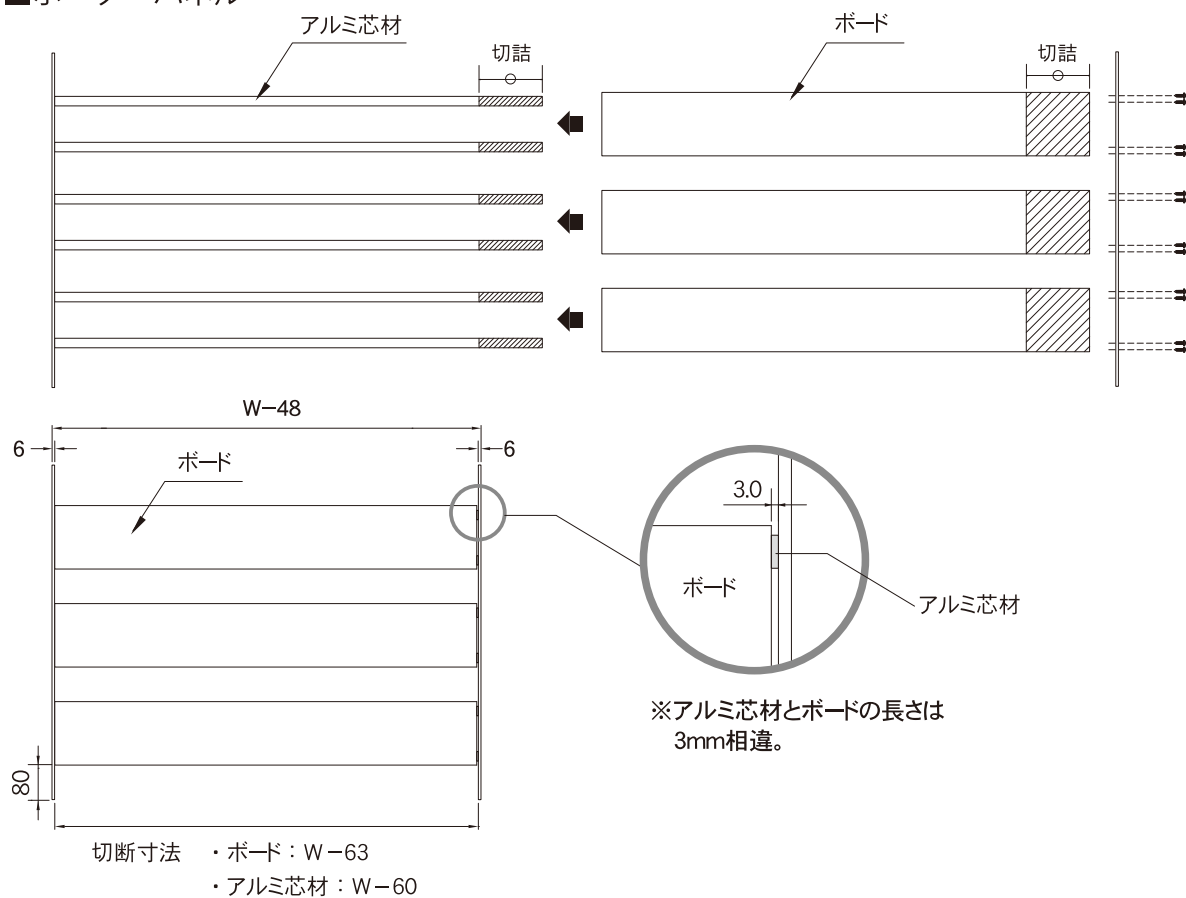
※L=1400を切断調整

■パネルの切り詰め

■ラティスパネル



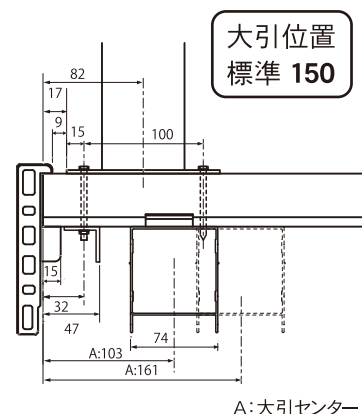
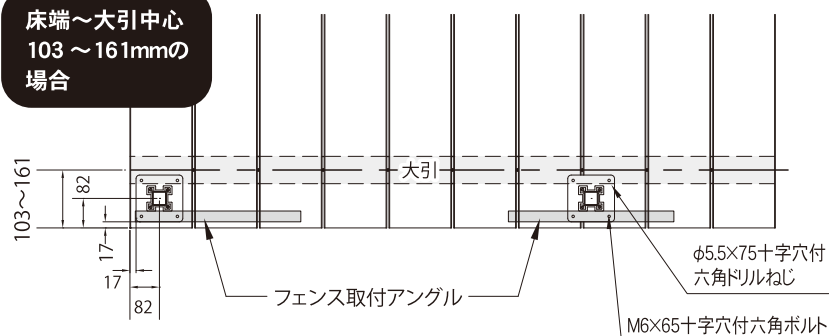
■ボーダーパネル



■ フェンス取付アングルの取付位置 ※大引の位置を103～161（標準位置）にすると取付が楽にできます。

標準位置

床端～大引中心
103～161mmの
場合

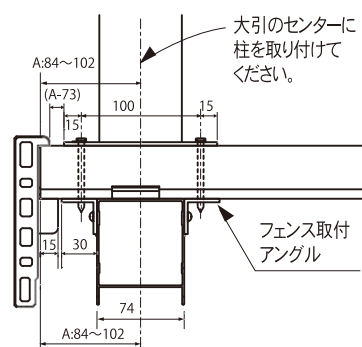
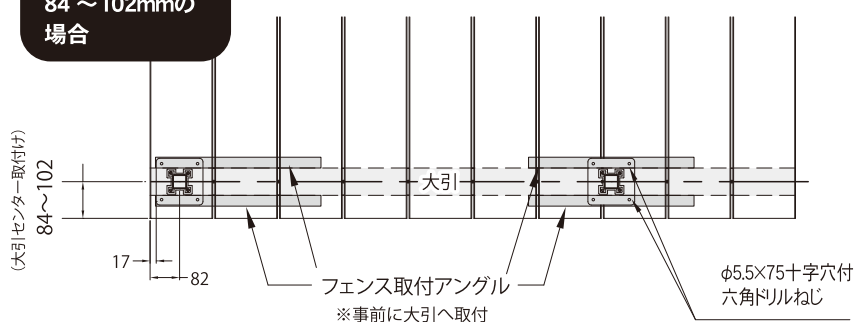


大引位置
標準 150

A: 大引センター

床端～大引中心
84～102mmの
場合

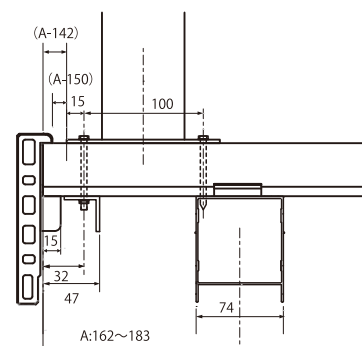
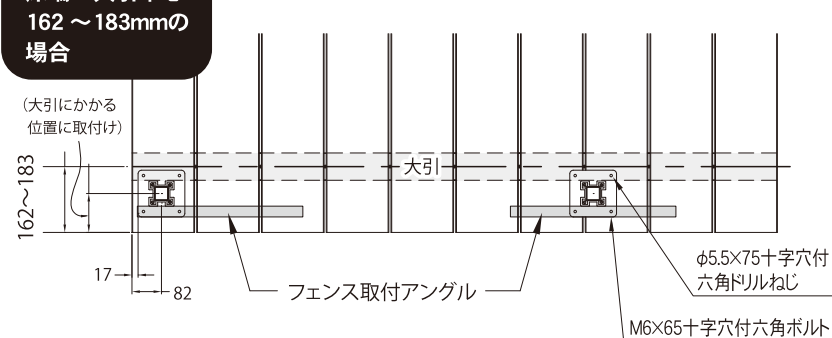
※取付アングルを事前に大引に取付ける必要があります。
柱を取付ける位置が、大引の位置によって変わります。



A: 大引センター

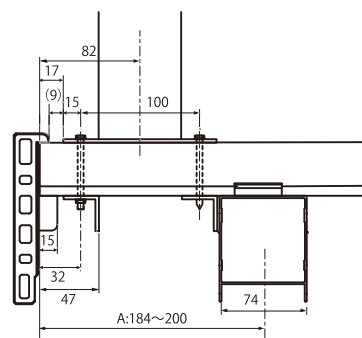
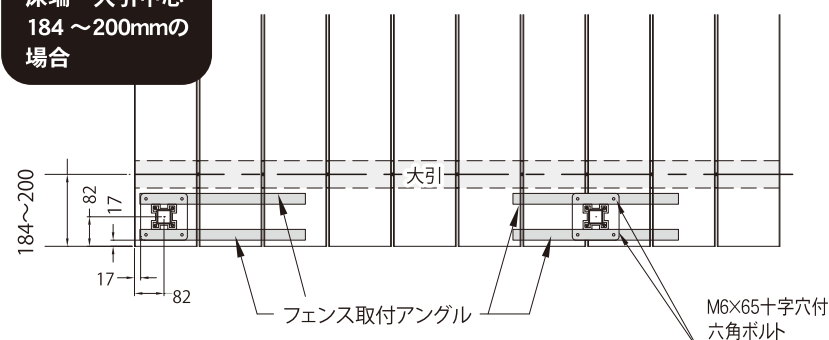
床端～大引中心
162～183mmの
場合

※柱を取付ける位置が、大引の位置によって変わります。



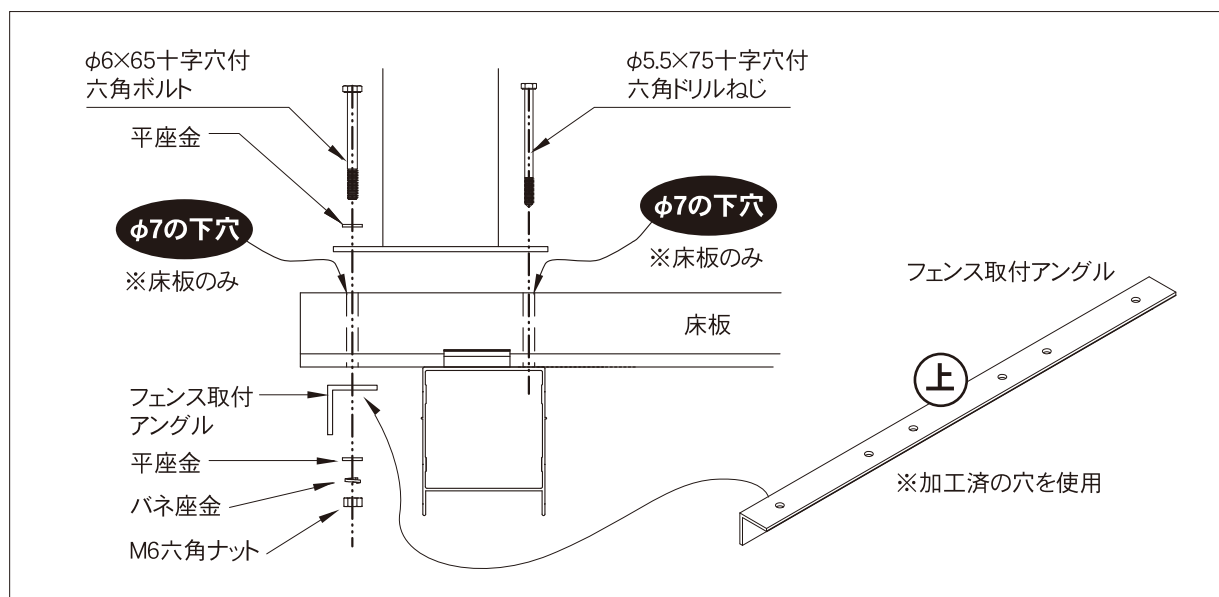
A: 大引センター

床端～大引中心
184～200mmの
場合

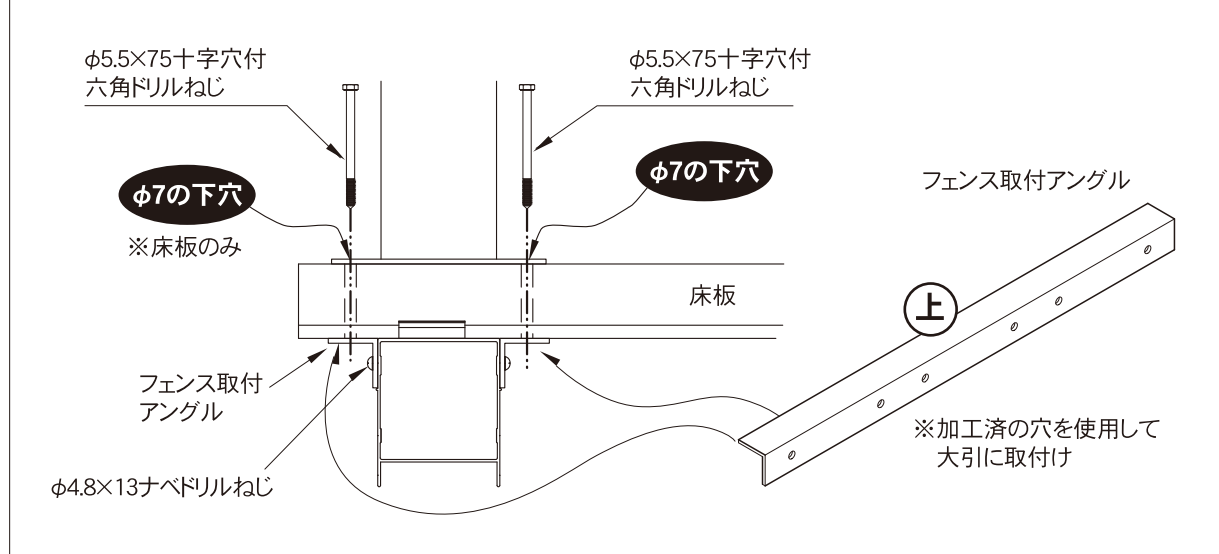


A: 大引センター

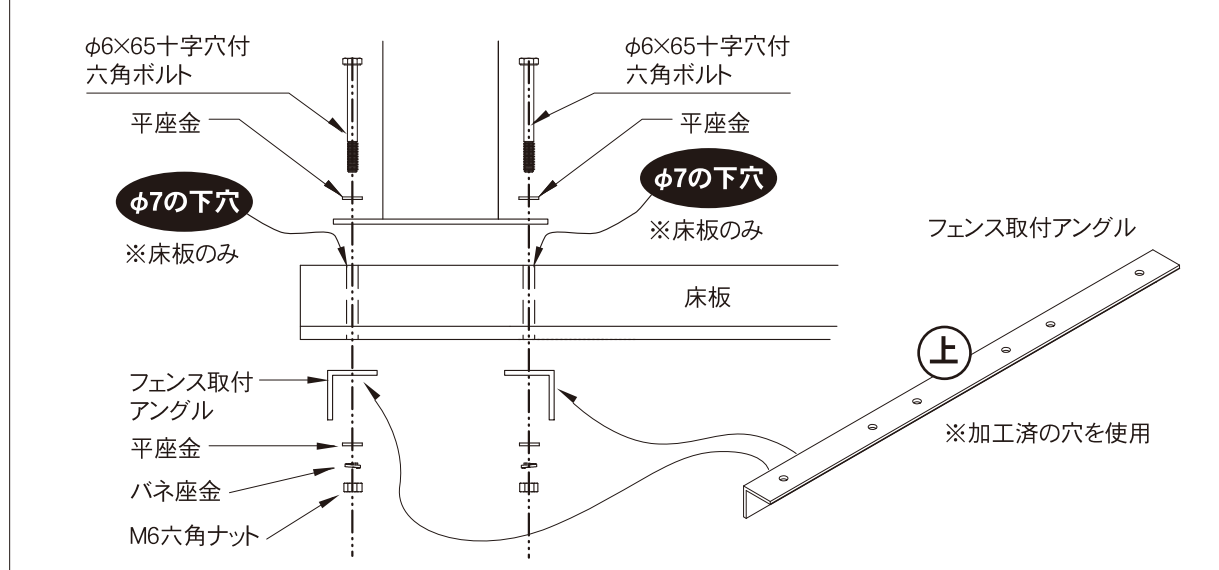
■フェンス取付アングルの取付け



■床端～大引中心 82 ～ 102 の場合

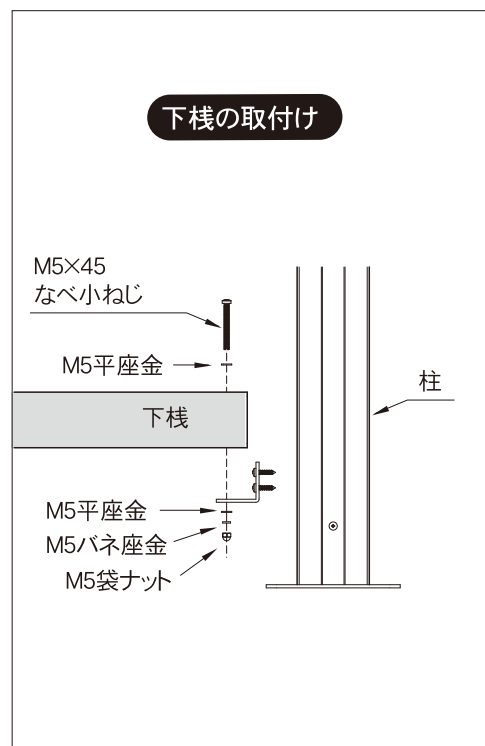
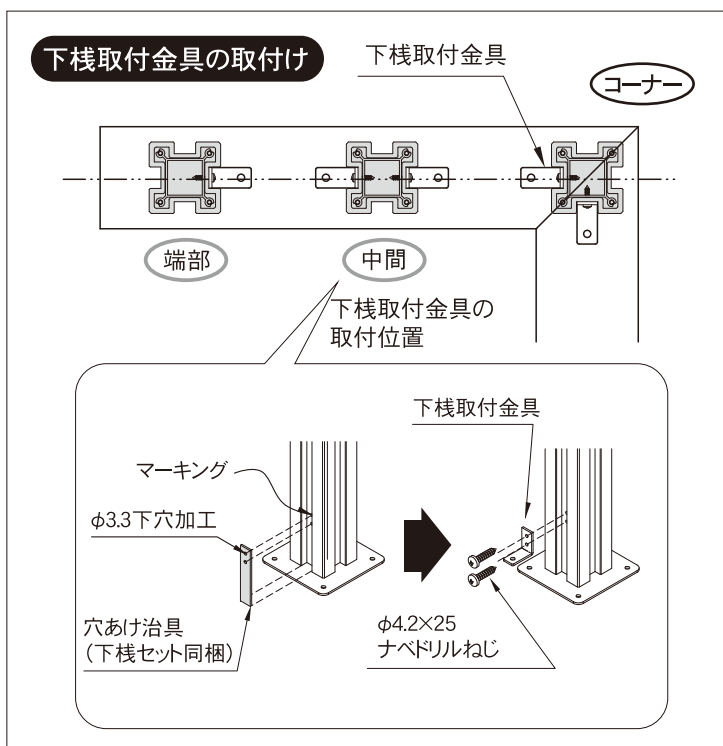


■大引が無い場合

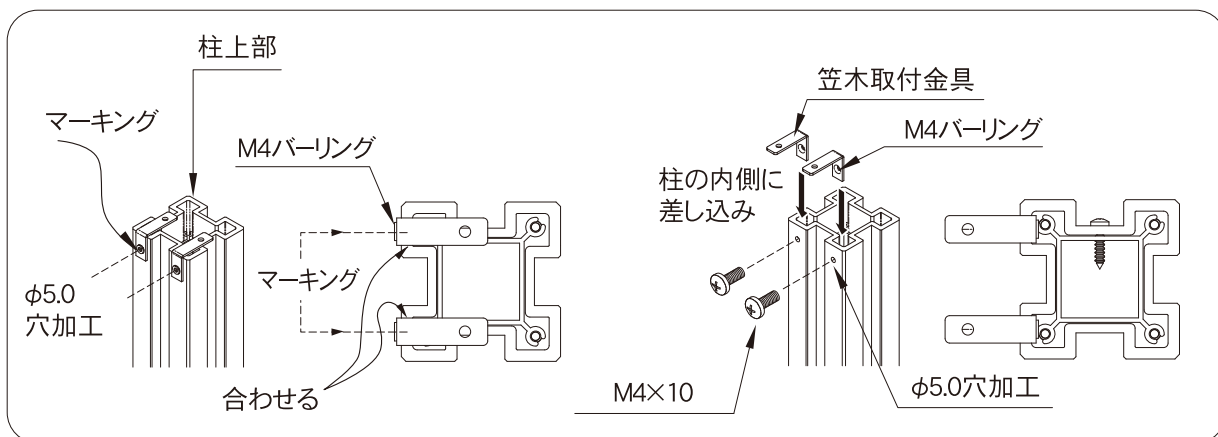
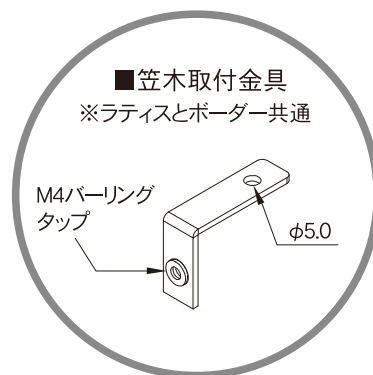
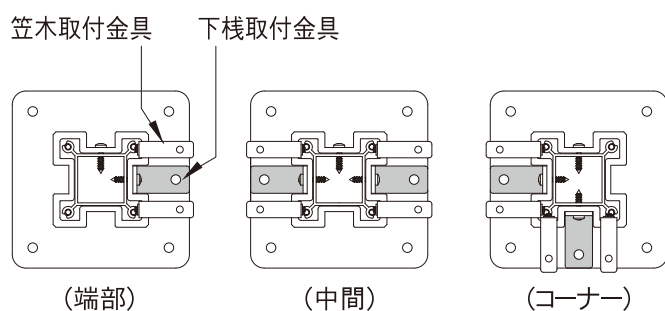


■ラティスフェンスの場合

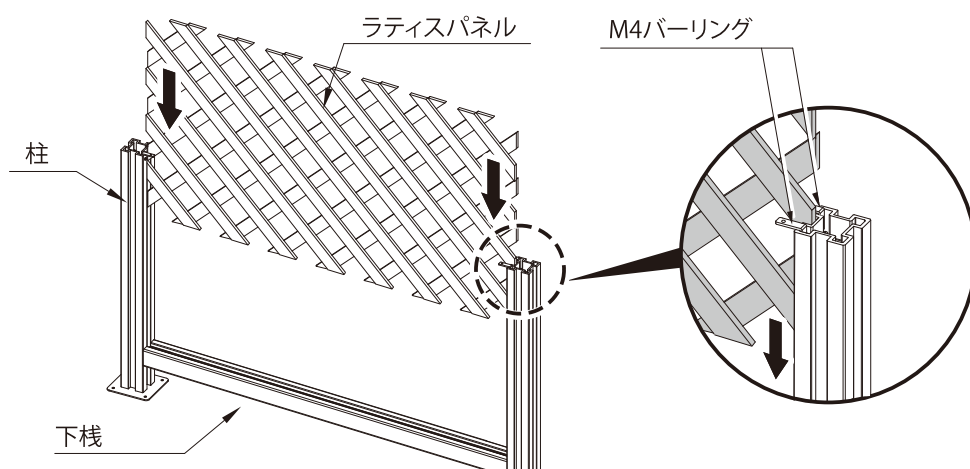
【1】下棧の取付け



【2】笠木取付金具の取付け

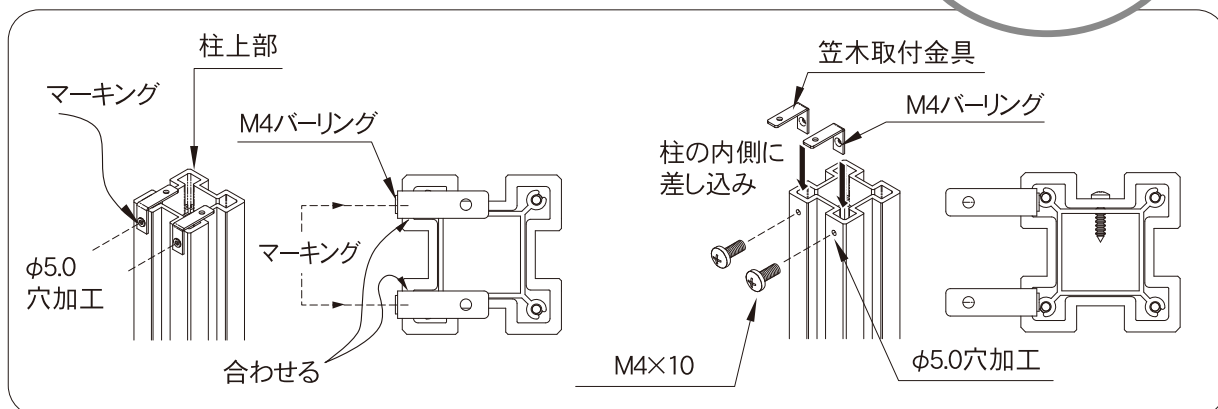
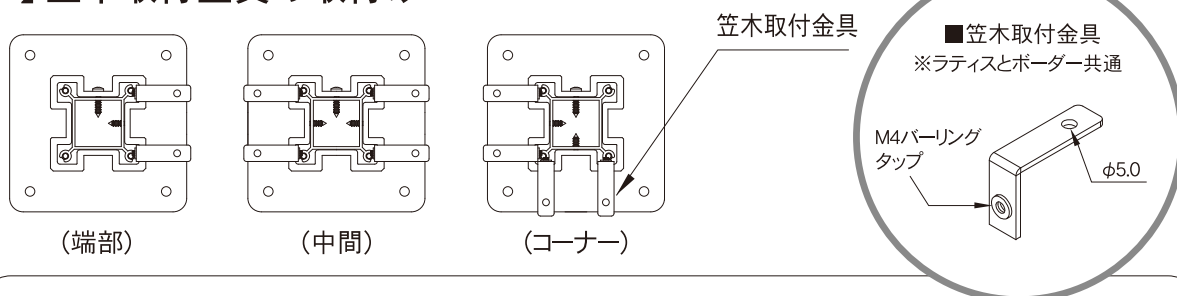


【3】パネルの挿入

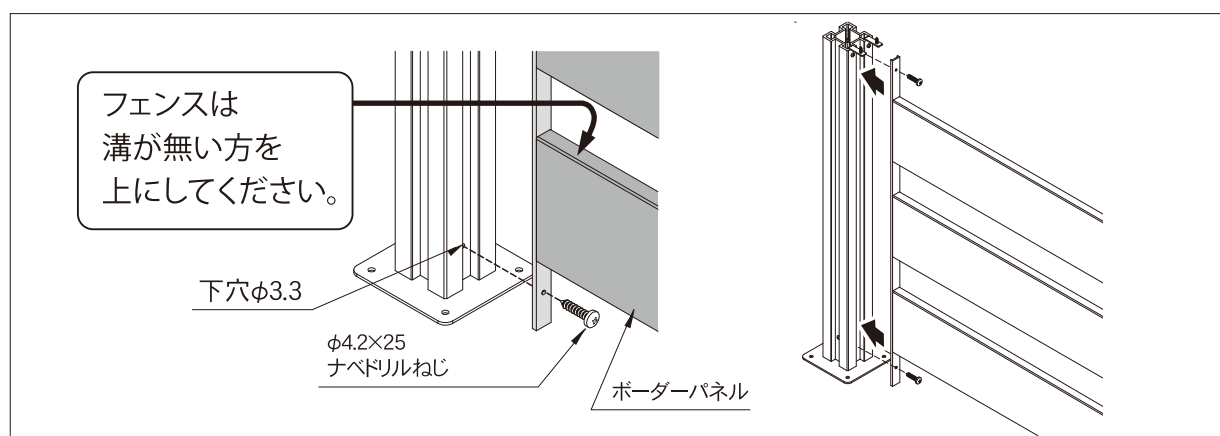


■ボーダーフェンスの場合

【1】笠木取付金具の取付け

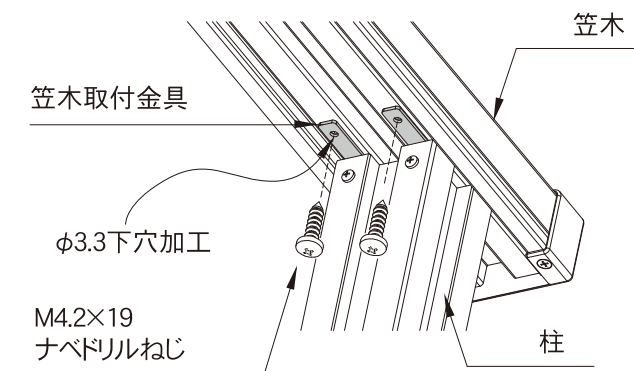


【2】フェンスの取付け

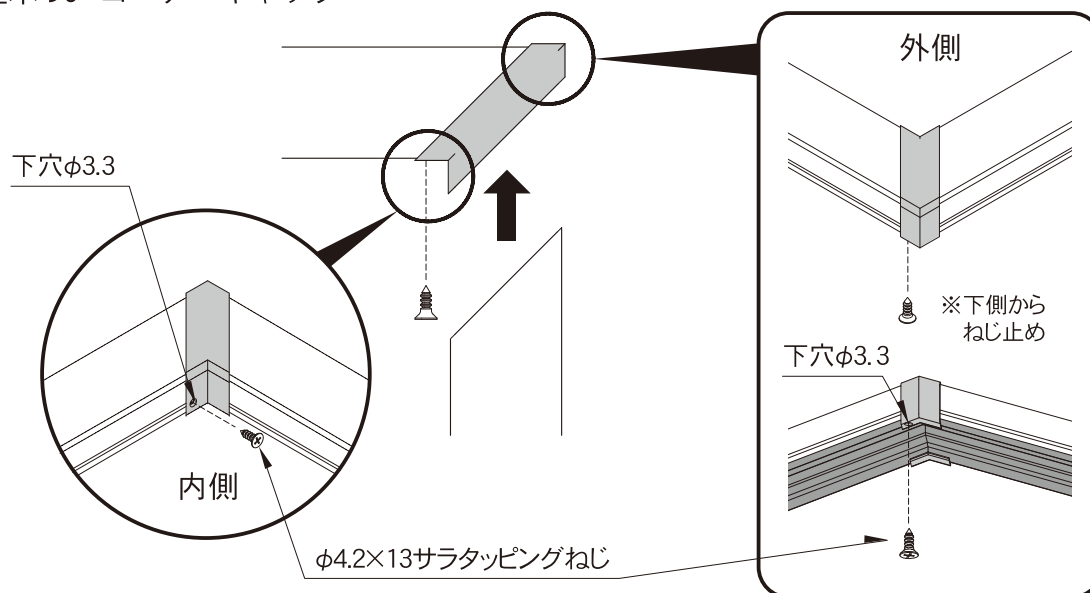




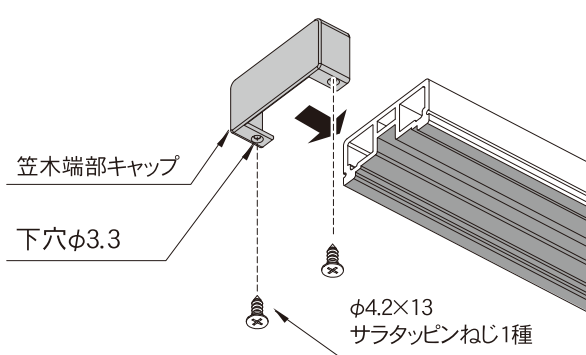
必ずラティスパネル挿入後、
ボーダーフェンス
笠木を取付けます。
各種キャップを挿入し、最後に
固定してください。



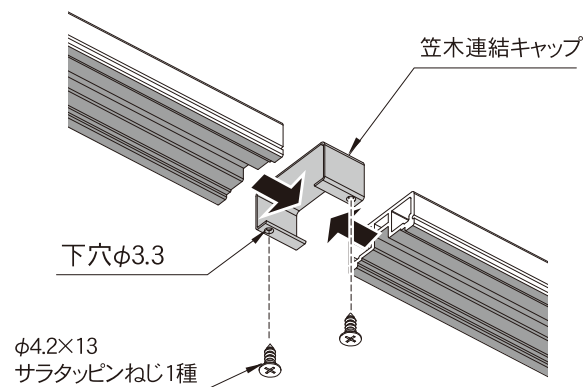
■笠木 90° コーナーキャップ



■笠木端部キャップ

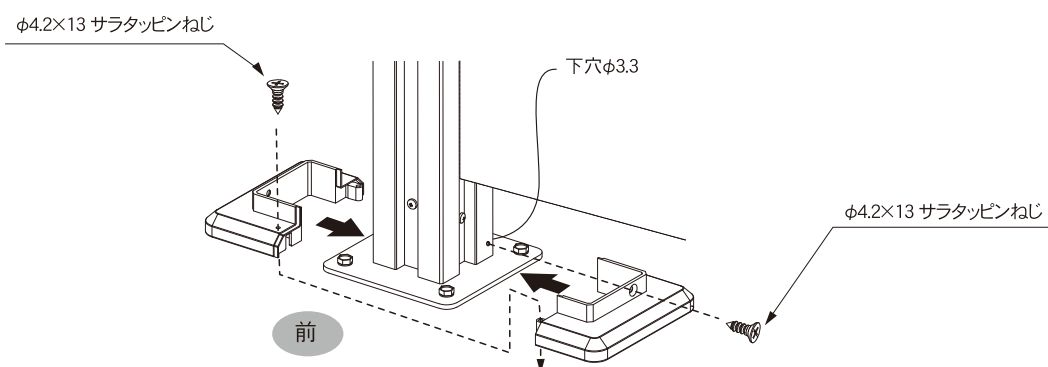


■笠木連結キャップ



6

フェンス柱化粧カバーの取付け



7

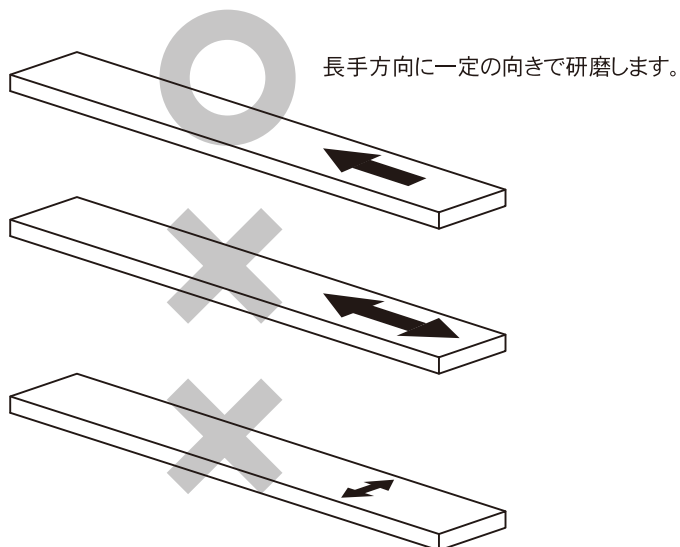
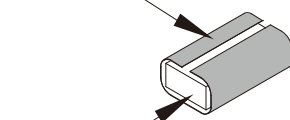
施工後の補修

Point

木片などの平らな部材を補修用サンドペーパーの裏から補助的に添えて、サンドペーパーがフラットにあたるようにします。

補修用
サンドペーパー

木片など



施工後、表面についたすりキズは補修用サンドペーパーで仕上げてください。(※デッキ本体に付属)市販のサンドペーパーを使用する際は #24 ~ 40 番を使用してください。

Point

強くこすりすぎないでください。下地が出てしまう場合があります。部材の長手方向に一定方向にこすってください。1ヶ所を集中的にこするのではなく、補修周辺を全体的にぼかす感じで作業を行うことがポイントです。

販売店名

販売日 (お引渡し日)

年 月 日

製造元



旭興進株式会社

20170901